

## Kリーグの理念

### 1. 「補欠ゼロ」の豊かなクラブ育成<チームからクラブへ>

- ・ 誰もがゲームに参加できる
  - 「補欠ゼロ」のハンドボール環境
  - 複数のチームによって構成される豊かな「クラブ」の育成
- ・ 練習への動機づけとなる
  - M-T-M（マッチートレーニングーマッチ）の活動サイクルの樹立
  - 合理的・科学的トレーニング
- ・ 「リーグ戦」が経験できる
  - 負けても次がある → 積極的なスポーツ観を育む

### 2. 強いチームとたくましい個の育成<レベルアップ>

- ・ 同程度の相手と切磋琢磨できる
  - レベルアップ
  - タレントの発掘と育成
  - 勝つか負けるか分からない「ハラハラ」を楽しむ
- ・ レベルやニーズに合わせた活動ができる
  - 昇格・降格による動機づけ → 強い「チーム」の育成
  - 能力に応じた活動の場の提供 → 自立したたくましい「個」の育成

### 3. ハンドボールを支える人材の育成<自主運営と受益者負担>

- ・ 「スポーツの主人公」を育てる
  - ただサービスを待つのではなく、自分でできることはする
  - 受益者負担の原則
- ・ コートを取り巻く多様な人材を育てる
  - 審判員の育成と地位向上
  - 現場スタッフ、ボランティア、サポーター等の多様な人材の発掘と育成